

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0436	青山ふれあいフェスタ開催事業					01	06	01	03	287	52
	事業名	0436	青山ふれあいフェスタ開催事業	所属	750100	青山支所振興課 産業建設係	連絡先(記入者) 若出 正裕 52 - 1114					
基本施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す										

概要	事業概要	ふれあいフェスタin青山実行委員会へ補助 (ふれあいフェスタin青山を開催することにより、地域産業や特産品の振興を図り、農林業、商工観光業の発展並びに地域振興に寄与する)						事業期間					
								平成	17	年度	～	平成	年度
	根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付規則				審議会・委員会等							
	補助金支出	<input type="checkbox"/>	※支出“有”の場合要綱を記入 支所関係補助金等交付要綱						分掌事務番号				
			15	19	32								
対象(誰を、何を)	農家、林家、農林業関係団体、商工業事業所・関係団体、住民自治協議会				※対象件数		単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値		
						団体部門数	4	4	4	4			
成果(どうする)	農林産物をはじめ商工業関係事業所等のPR、製品等の販売の場の提供ができます。												
H24実施内容	ふれあいフェスタin青山実行委員会へ補助 開催:平成24年10月27日 場所:青山ハーモニー・フォレスト 事前準備および開催当日対応 各関係団体がブース毎に運営・実施した												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	入場者数 (スタッフ等関係者を除く)	人	目標 3,300	実績 1,500	目標 3,300	実績 2,500	3,300	3,300
成果指標	出展ブース数等	件	目標 45	実績 40	目標 45	実績 45	45	45	関わった団体等を計ることが地域振興の寄与の目安になります。

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	補助金	887	1,265	1,287	1,287	1,287	1,287	1,287	1,287	
	事業費									
	その他事務経費									
	小計(B)	887	1,265	1,287	1,287	1,287	1,287	1,287	1,287	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費									
	正規職員	人数 0.2人	人数 0.2人	人数 0.2人	人数 0.2人	人数 0.2人	人数 0.2人	人数 0.2人	人数 0.2人	
	人件費	1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数 0.0人	人数 0.0人	人数 0.0人	人数 0.0人	人数 0.0人	人数 0.0人	人数 0.0人	人数 0.0人	
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計(C)	1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	
	合計(D=(B+C))	2,023	2,420	2,442	2,442	2,442	2,442	2,442	2,442	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	2,023	2,420	2,442	2,442	2,442	2,442	2,442	2,442	
	(うち繰越金)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	※前年度比	—	397	22	0	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
青山地域全体が協働して開催されるイベントが皆無となり、地域産業等の発展が期待できない。	(概ね)順調	雨天時開催について、開催場所毎の規模および手法の確立。	効率性
			※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)
			開催会場への来場者アクセスに、多大の経費が必要となる。
関与の妥当性	国や他の市町と比較したとき、サービスの対象範囲や水準を見直す余地がある事業	協働の状況など	農家、林家、農林業関係団体、商工業事業所・関係団体、住民自治協議会
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	実行委員会において、会場等雨天対応する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。
			実行委員会において、開催会場決定後に雨天時会場及び規模について同時に検討している。
現時点における課題及び課題に対する改善策	産業祭事業補助金がベースであるが、農産物の収穫時期が開催日に合致しにくい。開催会場の決定に各地域により希望箇所が異なる。よって実行委員会において一定の方向性を決定する。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	牧野 頼悌	現状維持	各種団体の参加ならびに市民の参加により、地域振興に寄与する事業である。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0437	収穫まつり開催事業					01	06	01	03	287	53
	事業名	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	所属	700100	大山田支所振興課	連絡先(記入者) 竹岡 章裕 47 - 1157					

概要	事業概要	地域の団体や組織を中心に模擬店を出店し地域産業や団体の活動等をPRする場を提供、また市民の交流の場として収穫まつりを開催。そのイベントを主催する実行委員会へ会場設営等を委託する。						事業期間					
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等						平成	16	年度	～	平成	年度
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号	15	19		
	対象(誰を、何を)	大山田支所管内及び周辺地域の住民						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	地域産業の発展と住民による地域づくり、都市住民との交流が図れる。						人	2,500	4,000	5,000	5,000	

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
			目標	実績	目標	実績			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									特記事項記入欄(積算基礎等)
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0		
[支出]	会場設営等委託料	1,951	1,951	1,951	1,951	1,951	1,951	1,951		特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	その他事務経費									
	小計(B)	1,951	1,951	1,951	1,951	1,951	1,951	1,951		
	人件費									
	正規職員	人数	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	
	人件費	1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
	人件費									
	小計(C)	1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155		
	合計(D=(B+C))	3,087	3,106	3,106	3,106	3,106	3,106	3,106		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	3,087	3,106	3,106	3,106	3,106	3,106	3,106		特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	19	0	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

事後評価	必要性	9. 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業								
	有効性	※廃止したときの影響		達成度		※未達成事項記入欄		効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)	
		収穫まつりが開催できなくなる		(概ね)順調						
	関与の妥当性				協働の状況など		事業計画から運営まで実行委員会で行っているが、地域産業の発展や各種団体の活動を支援するイベントであるため、支所担当課として協力、支援を行っている。			
	実施方法(該当するもの全て)	○ 委託・指定管理(公募・競争)		○ 委託・指定管理(非公募・随意)		負担金・補助金・交付金		※委託内容及び委託先の存在		業務委託契約 大山田収穫まつり実行委員会
	昨年度記載した改善策	平成24年度中に収穫まつりの運営について実行委員会と協議を行う。			左記改善策への取組状況		【状況】【詳細】		計画のとおり進んでいる。	
									収穫まつり実行委員会理事会に参加し、まつりの運営について話し合いをした。	
	現時点における課題及び課題に対する改善策	収穫まつりの計画及び運営について実行委員会で行っているが、補助対象事業費を明確にするなど内容を精査し事業経費の削減が出来るよう指導していく。								
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由							
	西口敏之	現状維持	実行委員会による主体的な開催を支援し、より多くの市民の参加が得られるよう一層創意工夫が必要である。							

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0445	伊賀米生産振興経費					01	06	01	03	293	51
	事業名	0445	伊賀米生産振興経費	所属	160100	産業振興部農林振興課 振興係	連絡先(記入者) 堀 久仁寿 43 - 2302					
基本施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す										

概要	事業概要	稲作栽培の技術向上および、米の品質向上を図り、「伊賀米」ブランドの普及、販売拡大に努める。また、国の対策である経営所得安定対策の実施に必要な推進活動及び事務を実施する。						事業期間					
							平成	年度 ~ 平成	年度				
根拠法令・要綱等	団体規約、経営所得安定対策実施要綱、直接支払推進事業にかかる事務取扱要領	審議会・委員会等	伊賀米振興協議会、伊賀市農業再生協議会										
補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号			1	6	14	
対象(誰を、何を)	伊賀米生産農業者、関係事業者及び地域の消費者。経営所得安定対策対象農業者。	※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値	
成果(どうする)	伊賀市の主力農産物である伊賀米の生産基盤が保持できる。伊賀米の有利販売が行われる。安全安心な伊賀米が安定供給される。経営所得安定対策の推進。												
H24実施内容	伊賀米振興協議会並びに三重県米麦協会の活動経費を負担。当該支援団体の活動を通して、伊賀地域における稲作栽培の技術向上および米の品質向上を図り、同時に経済情勢、需給動向に対応した計画的生産販売を行うことで、安定した生産販売体制を構築する。また、「伊賀米」ブランドの普及、販売拡大に努める。												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	振興協議会、研修会等の実施	回	目標	16	目標	16	16	16	伊賀米振興協議会、研修会等の開催回数
			実績	16	実績	17			
成果指標	伊賀米の集荷量	袋	目標	330,000	目標	330,000	350,000	350,000	JAへの伊賀米出荷量
			実績	319,895	実績	345,895			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他			19,557	20,000	20,000	20,000	20,000		
	合計(A)	0	0	19,557	20,000	20,000	20,000	20,000	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	委託料			17,592	18,040	18,040	18,040	18,040		
	負担金	2,628	2,628	2,629	2,629	2,629	2,629	2,629		
	その他事務経費	1,501	1,809	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960		
	小計(B)	4,129	4,437	22,181	22,629	22,629	22,629	22,629	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
	人件費									
	正規職員	人数	0.1人	0.1人	1.4人	1.4人	1.4人	1.4人	1.4人	
		人件費	568	578	8,088	8,088	8,088	8,088	8,088	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	
		人件費								
	小計(C)		568	578	8,088	8,088	8,088	8,088	8,088	
	合計(D=(B+C))		4,697	5,015	30,269	30,717	30,717	30,717	30,717	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)		4,697	5,015	10,712	10,717	10,717	10,717	10,717	
	(うち繰越金)									
	※前年度比		—	318	5,697	5	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額									

事後評価	必要性	1. 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
	有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	(概ね)順調		
関与の妥当性		協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)		委託・指定管理(公募・競争)	○	負担金・補助金・交付金
		○	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)
				※委託内容及び委託先の存在 水田農業事務委託、伊賀市農業再生協議会
昨年度記載した改善策	伊賀米オリジナルの東京キャンペーンを実施する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】	計画のとおり進んでいる。 東京都立川市のハウジングワールド立川で、伊賀米キャンペーンを実施した。
現時点における課題及び課題に対する改善策	本年度も伊賀米の東京キャンペーンを実施する。			
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由	
	服部 智秀	現状維持	協議会の運営について伊賀市の意見や要望が多く反映されるよう努める。経営所得安定対策は国策で実施するもので、県農業再生協議会を通じてその活動事務の交付金が交付されている。	

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0464	畜産振興事務経費					01	06	01	07	317	51
	事業名	0464	畜産振興事務経費	所属	160100	産業振興部農林振興課 振興係	連絡先(記入者) 今井 健次 43 - 2302					
基本施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す										

概要	事業概要	優良素牛の導入促進 伝染病予防接種薬剤費に対する補助 振興団体への補助及び協議会負担金支出	事業期間				
			平成 25 年度	～	平成 年度		
根拠法令・要綱等		審議会・委員会等					
補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入	分掌事務番号	5			
対象(誰を、何を)	畜産農家、銘柄牛「伊賀牛」	※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
			頭	470	463	460	460
成果(どうする)	口蹄疫病などの伝染病の予防及び畜産農家の経営安定化、銘柄牛の優良化						
H24実施内容	家畜保健衛生対策:防疫推進のため予防接種の薬剤費に対し、牛15%、豚5%の助成 畜産振興事業:振興団体の販売促進等に対する助成 優良素牛導入支援:優良素牛を伊賀地域へ導入しやすくするため1頭あたり4,500円を助成						

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H23	H24	H25	H26	
活動指標	優良素牛導入頭数	頭	目標 360.0 実績 470.0	目標 360.0 実績 463.0	460.0	460.0	導入した優良素牛の頭数
	成果指標	優良素牛導入頭数	頭	目標 360.0 実績 470.0	目標 360.0 実績 463.0	460.0	460.0

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料								
	国費 (補助率)								
	県費 (補助率)								
	地方債								
	その他								
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	優良素牛導入助成金	2,070	2,070	2,070	2,070	2,070	2,070	2,070	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	和牛肥育組合振興助成金	450	450	450	450	450	450	450	
	家畜保健衛生対策事業費補助金	463	383	650	650	650	650	650	
	その他事務経費	10	10	10	10	10	10	10	
	小計(B)	2,993	2,913	3,180	3,180	3,180	3,180	3,180	
人件費	正規職員	人数	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
		人件費	1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	
		人件費							
	小計(C)	1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	
	合計(D=(B+C))	4,129	4,068	4,335	4,335	4,335	4,335	4,335	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	4,129	4,068	4,335	4,335	4,335	4,335	4,335	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
	(うち繰越金)								
	※前年度比	—	△ 61	267	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額								

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
畜産農家の衰退を促進し、伊賀牛の存続に関わる。	(概ね)順調		
関与の妥当性		協働の状況など	
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	○	負担金・補助金・交付金
	委託・指定管理(非公募・随意)		直接実施(契約・交付事務を除く)
			※委託内容及び委託先の存在
昨年度記載した改善策	畜産関係団体が市内で統一化されたことに伴い、情報交換が容易になった。今後、関係機関との連携を徹底する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 幹事会での情報交換など、今後の展望についての議論が活発化された。
現時点における課題及び課題に対する改善策	経済情勢の悪化や畜産農家の高齢化が進み、畜産農家の廃業が進行しているため、「伊賀牛」ブランドの推進や販売促進等を行い、生産意欲の向上を図る。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	服部 智秀	現状維持	伊賀牛が三重ブランドに認定されており、今後の畜産農家の生産意欲向上を推進していく必要がある。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0492	地場産業振興事業					01	07	01	03	336	51
	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	所属		160300	名称	産業振興部観光戦略課					
							連絡先(記入者)			川部千佳 22 - 9670		

概要	事業概要	伊賀市物産協会に地場産業振興事業を委託し、じばさん祭りや観光キャンペーンを実施している。伊賀焼振興協同組合に伝統工芸品産業振興補助金を助成し、技術研修や体験学習を実施した。						事業期間				
								平成	年度 ~ 平成	年度		
	根拠法令・要綱等							審議会・委員会等				
	補助金支出	<input checked="" type="checkbox"/>	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号			
								5	6	9		
対象(誰を、何を)	特産品生産者、物産振興団体						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
							団体	11	11	11	11	
成果(どうする)	地域物産の販売が向上することで、業績が安定し、地域の雇用増に資する。											
H24実施内容	じばさん祭りの実施 東京、大阪などの観光物産キャンペーンの実施											

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H23	H24	H25	H26	
	活動指標	物産展への出展回数	回	目標 5.0 実績 8.0	目標 5.0 実績 6.0	6.0	6.0
成果指標	物産展・催事の売上高	千円	目標 4,000.0 実績 1,430.0	目標 1,430.0 実績 1,429.0	1,500.0	1,500.0	

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。									
	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
	[収入]									
	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]									
委託料	8,130	8,130	8,130	8,130	8,130	8,130	8,130	8,130		
補助金負担金	610	610	610	610	610	610	610	610		
その他事務経費										
小計(B)	8,740	8,740	8,740	8,740	8,740	8,740	8,740	8,740	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
人件費										
正規職員	人数 0.7人 人件費 3,977	人数 0.7人 人件費 4,044								
臨時・嘱託・再雇用職員	人数 人件費	人数 人件費	人数 人件費	人数 人件費	人数 人件費	人数 人件費	人数 人件費	人数 人件費		
小計(C)	3,977	4,044	4,044	4,044	4,044	4,044	4,044	4,044		
合計(D=B+C)	12,717	12,784	12,784	12,784	12,784	12,784	12,784	12,784	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]										
一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	12,717	12,784	12,784	12,784	12,784	12,784	12,784	12,784		
※前年度比	-	67	0	0	0	0	0	0		
対象者あたり一般財源充当額										

事後評価	必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業											
	有効性	※廃止したときの影響			達成度				※未達成事項記入欄			効率性	
		トータルで伊賀の物産をPRし販路を拡大する手段がなくなる。			やや遅れ				景気の低迷で、消費者の財布の紐がきつくなり売り上げが伸びなかった。			物産展への参加について、各事業者が積極的に参加する仕組みづくりをする必要がある。	
	関与の妥当性					協働の状況など		市内の物産関係11団体と共同してじばさん祭りや物産展への参加を行って官民共同事業といえる。					
	実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)		<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)		<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金		<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)		※委託内容及び委託先の存在			
										伊賀市物産協会にじばさん祭りの実施や物産展への参加を委託している。			
	昨年度記載した改善策	地場産業そのものを観光資源として活用し、「学ぶ・体験する・ふれあう」などを求める新たな観光ニーズに対応させるため、今年度において観光商品メニューの充実をすすめる。				左記改善策への取組状況		【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。					
								観光協会などと連携し、伊賀焼体験・交流事業を実施し、着地型観光商品のモデルツアーを開催した。					
	現時点における課題及び課題に対する改善策	単に物産というモノを売るだけでは供給過多の時代に対応できないので、着地型観光商品の開発を進めて「体験や共鳴」することから物産の販路拡大を目指したい。											
	今後の方向性	担当課長氏名		方向性		理由							
	小林康志		現状維持		地域の雇用を守り、少子化・過疎化に対応するには地場産品の販売増が不可欠であるため。								